

子供の未来応援基金
第1回募集における申請・支援状況

平成29年10月

子供の未来応援国民運動推進事務局

第1回支援団体公募への支援申請状況

○申請総数 535件

1. 金額

○申請総額 約18億3997万円(平均額:約344万円)

100万円未満	66件
200万円未満	64件
300万円未満	64件
400万円未満	69件
500万円未満	95件
500万円	177件

2. 事業類型別

○事業名及び事業内容から主たる事業と思われる事業に則して分類。

様々な学びを支援する事業	163件
居場所の提供・相談支援を行う事業	99件
衣食住など生活の支援を行う事業	123件
児童養護施設等の退所者を支援する事業	39件
児童又はその保護者の就労を支援する事業	19件
里親又は特別養子縁組の斡旋を実施又は支援する事業	9件
その他、貧困の連鎖の解消につながる事業	83件

3. 団体種別

○NPOによる申請が最も多い。任意団体には町内会、自治会、商店街、協同組合や、NPO認定申請中の団体等が含まれる。

公益法人	7件
一般法人	72件
NPO	289件
その他任意団体	167件

4. 地域別

○香川県を除く全都道府県から申請があった。

北海道	東北	関東	中部	近畿	中四国	九州
北海道 11	青森 1	茨城 5	新潟 7	三重 11	鳥取 2	福岡 21
	岩手 5	栃木 8	富山 4	滋賀 5	島根 5	佐賀 2
	宮城 20	群馬 7	石川 6	京都 14	岡山 8	長崎 9
	秋田 4	埼玉 8	福井 3	大阪 70	広島 8	熊本 16
	山形 3	千葉 17	山梨 5	兵庫 13	山口 7	大分 5
	福島 7	東京 102	長野 9	奈良 4	徳島 3	宮崎 7
		神奈川 24	岐阜 3	和歌山 2	香川 0	鹿児島 7
			静岡 14		愛媛 8	沖縄 11
			愛知 20		高知 1	

第1回支援団体の採択結果について

- 535団体から申請のあった事業の中から、①計画性、②連携とその効果、③戦略的な広報、④継続性の観点等から審査を行い、86団体を採択することとなった。支援総額は約3億1500万円であり、1団体当たり平均約367万円を支援する。
- 事業類型別、団体種別、支援金額別、地域別の採択数は以下のとおり。

□事業類型別

様々な学びを支援する事業	28
居場所の提供・相談支援を行う事業	17
衣食住など生活の支援を行う事業	18
児童養護施設等の退所者を支援する事業	8
児童又はその保護者の就労を支援する事業	3
里親又は特別養子縁組の斡旋を実施又は支援する事業	1
その他、貧困の連鎖の解消につながる事業	11

□団体種別

公益法人	2
一般法人	12
NPO	56
その他任意団体	16

□支援金額別

100万円未満	6
200万円未満	5
300万円未満	19
400万円未満	10
500万円未満	21
500万円	25

□地域別

北海道・東北	12
関東	32
中部	10
近畿	22
中国・四国	4
九州・沖縄	6

第1回募集における採択団体一覧

団体名	所在地	団体名	所在地	団体名	所在地	団体名	所在地
Kacotam	北海道	くにたち地域コラボ	東京都	全国フードバンク推進協議会	山梨県	トイボックス	大阪府
フードバンク岩手	岩手県	ここからプロジェクト	東京都	育みの会	山梨県	とよなかESDネットワーク	大阪府
もりおかユースポート	岩手県	桜台こども食堂	東京都	NPOホットライン信州	長野県	西淀川子どもセンター	大阪府
アスイク	宮城県	セカンドハーベスト・ジャパン	東京都	サステナブルネット	静岡県	認定NPO法人D×P	大阪府
せんだいこども食堂	宮城県	全国子どもの貧困・教育支援団体協議会	東京都	ブリッジハートセンター東海	静岡県	寝屋川市民たすけあいの会	大阪府
鶴が丘一丁目町内会	宮城県	ソーシャル・アーティスト・ネットワーク	東京都	POPOLO	静岡県	ハートフレンド	大阪府
ロージーベル	宮城県	育て上げネット	東京都	子育て支援を考える会TO KOTOKO	愛知県	ヒューマンワークアソシエーション	大阪府
亘理いちごっこ	宮城県	地域教育ネット	東京都	こどもサポートネットあいち	愛知県	こどもサポートセンター	兵庫県
STORIA	宮城県	チャイルドライン支援センター	東京都	再非行防止サポートセンター愛知	愛知県	チャンス・フォー・チルドレン	兵庫県
TEDIC	宮城県	稲門寺子屋西東京	東京都	全国こども福祉センター	愛知県	YCスタジオ	島根県
KAKE COMI	福島県	豊島子どもWAKUWAKUネットワーク	東京都	shining	三重県	学校教育開発研究所	広島県
ビーンズふくしま	福島県	ドリームタウン	東京都	Links	滋賀県	「食べて語ろう会」	広島県
ひたちNPOセンター・With You	茨城県	ピアサポートネットしづや	東京都	マキシマネットワーク	京都府	山口せわやきネットワーク	山口県
栃木県若年者支援機構	栃木県	ブリッジフォースマイル	東京都	山科醍醐こどものひろば	京都府	エデュケーションエキューブ	福岡県
とちぎボランティアネットワーク	栃木県	ほっこり家族	東京都	あっとすくーる	大阪府	長住団地自治会	福岡県
ヤング・アシスト	群馬県	学び塾「猫の足あと」	東京都	eトコ・プロジェクト	大阪府	抱樸	福岡県
青少年自助自立支援機構	埼玉県	鎌倉てらこや	神奈川県	大阪里親連合会岸和田支部(どんぐり会)	大阪府	せかい卵	長崎県
生活困窮・ホームレス自立支援ガンバの会	千葉県	全国てらこやネットワーク	神奈川県	おおさか若者就労支援機構	大阪府	らしくサポート	宮崎県
ダイバーシティ工房	千葉県	小さな森の学校	神奈川県	キャリアブリッジ	大阪府	鹿児島ボランティアバンク	鹿児島県
葛飾区次世代育成支援団体ハーフタイム	東京都	パノラマ	神奈川県	子どもセンターぬつく	大阪府		
キッズドア	東京都	フェアスタートサポート	神奈川県	子どもデザイン教室	大阪府		
教育支援グローバル基金	東京都	六浦東・まち交流ステーション委員会	神奈川県	こどもの里	大阪府		
				多文化共生センター大阪	大阪府		

第1回募集における採択団体に関する取組 -その1-

▶ 採択団体Facebookグループを開設

採択団体同士が情報提供や意見交換を行う場としてFacebookグループを開設。

▶ マatching・フォーラムで活動を紹介

子供の貧困対策に係る情報提供や、支援を必要とする団体と支援を行う企業等との交流の場づくりとしてマatching・フォーラムを開催（今年度も開催予定）。

採択団体の協力のもとパネルディスカッションや企業等との連携事例の紹介などを実施。



【平成29年3月2日 横浜市】
パネルディスカッションで4団体が登壇。
・NPO法人パノラマ
・フェアスタートサポート
・NPO法人全国てらこやネットワーク
・六浦東・まち交流ステーション委員会

【平成29年3月12日 札幌市】
NPO法人Kacotam 理事長 高橋 勇造 氏が団体の活動を紹介、「協働（企業などの協働事例を考える）」をテーマとしたパネルディスカッションに参加。



【平成29年3月16日 京都市】
NPO法人山科醍醐こどものひろば 代表 村井 琢哉 氏が、団体の活動を紹介、パネルディスカッションに参加。

▶ 国民運動公式Facebookページにおいて活動報告をシェア

採択団体がFacebookやHP上に投稿している基金の支援による活動の報告を、国民運動公式Facebookページでシェア。



ページ「いいね！」数
合計18,159人
※平成29年9月21日時点

▶ 内閣府HP・国民運動公式HPで紹介

内閣府HPと国民運動公式HPにおいて、全ての採択団体の概要を掲載。



* 内閣府HP



* 国民運動HP

第1回募集における採択団体に関する取組 -その2-

▶ 採択団体に関するドキュメンタリー動画を作成

▽広報用チラシ

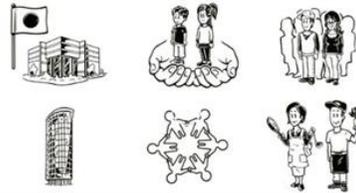
子供の未来応援国民運動を紹介する動画を公開中です！

①イラストタッチの動画：

子供たちに何か支援ができないかと考えている人たちに向けて、子供の未来応援国民運動を解説。



何か自分でできることはないのでしょうか



子供たちの支援を広げていく取り組みです

子供の未来応援基金



公正な審査で決めているのです



子供たちの夢を貧困につぶさせない

②ドキュメンタリー動画：

子供の未来応援基金が助成をしている、地域で子供たちを支援している団体の活動を紹介。



<動画公開場所>

○内閣府ウェブサイト（「子供の未来 内閣府動画」で検索）

<http://www8.cao.go.jp/kodomonohinkon/kokuminundou/video.html>

○子供の未来応援国民運動フェイスブックページ

<https://www.facebook.com/kodomonomirauiouen/>

・国民運動への参加協力の呼びかけに
・国民運動参加の意義をアピールする際に
是非、御活用ください！

第1回募集における採択団体事例

1. 学びの支援

NPO法人 Links [滋賀県]

苦しい境遇にある子供たちも、夢を持って生きていける街に

「塾の費用はない。家族の協力もない。頼る人もいない…」 「家は落ち着いて勉強できる環境にない。」 そんな子供たちのために、社会人や大学生のボランティアサポーターが中心となって、基礎学力定着のための学習支援、「みんなで作り、遊び、食べる」を楽しむ居場所づくりを行っています。子供たちから「なくてはならないから、なくさないでほしい」との声があり、支援の継続性を感じています。



<子供の未来応援基金の支援による活動紹介>

- 学び育ち教室Learning Links：主に経済的事情や家庭事情・対人などに課題を持つ小中高校生20名程度に毎週月曜、彦根市で開催。
- 学び育ち教室サンタナクラス：外国にルーツを持つ子供たちに毎月4回、愛知郡で開催。
- かめの子ども食堂：市と連携（ケースワーカーが対象児童に紹介。）して小中高校生10名程度に毎月1回、彦根市で開催。

2. 衣食住など生活の支援

NPO法人 もりおかユースポート [岩手県]

「朝の子ども食堂」で一日の活力となる朝食を！

中学生の学習支援を平日の夜間や休日に行っていると、ちょっと小腹がすいた時やリラックスしたい時に食べてもらおうと用意した菓子パンやお饅頭などを、開始早々、黙々と食べ始める子供たちがいることに気づきました。

「きっと家で食べてこられなかったんだな…。勉強より先にすることがあるのでは？」と考え、登校前の朝食提供を始めました。少数のスタッフでも続けられるよう、献立はシンプルに。食材は寄付やフードバンクなどと連携して経費削減。ホットプレートで焼く程度ですが、子供たちも「調理」に関わり、生活していく力を身に付ける機会をつくっています。



<子供の未来応援基金の支援による活動紹介>

- 朝の子ども地域食堂：小中高生100名（月延べ）に週3～5回開催。
- 不登校生徒・放課後の居場所提供（学習支援、進路相談、専門支援機関と連携）：小中高生と家族200名（月延べ）に週3～5回。

3. 居場所の提供・相談支援

NPO法人 STORIA [宮城県]

困難を乗り越え、生き抜く力を身につけてほしい

「どうせ自分なんて、何をやっても無駄だ。」と、何をするにつけ思いがちな子もいます。自分の可能性を信じられず、もがいている気持ちが伝わってきます。

私たちは、基金の支援により、生活保護、児童扶養手当、就学援助受給の家庭の子供を対象に、食事の提供や学習支援、多様な体験プログラムが可能な居場所をつくっています。家族を対象に相談業務も定期的に行っています。親同士の交流も生まれ、困った時には助け合える関係が築かれています。

<子供の未来応援基金の支援による活動紹介>

- 居場所事業（調理、食事、片づけを一緒に楽しむ「こどもキッチン」、個別対応の「学習支援」、楽しく過ごす「自由時間」）
：2拠点で小学生20名に週2回開催。
- レッツチャレンジ（普段、家庭では経験できない体験、より多くの人と触れ合う体験プログラム）：2拠点で小学生20名に月1回開催。



4. 児童養護施設退所者などの支援

一般社団法人 青少年自助自立支援機構 [埼玉県]

運転免許を、児童養護施設の退所者に

虐待やネグレクト（育児放棄）、親の死別など、さまざまな理由から児童養護施設で暮らす子供たち。高校卒業後は退所し、経済的援助を期待できる人も少ないなかで、自立して生活しなければなりません。

そこで、高校卒業後に就職を予定している子供たちを対象に、教習所での普通免許取得費用を助成しています。就職活動に生かすことができ、生涯にわたって役立つ運転免許により、子供たちの自立を継続的にサポートしています。

<子供の未来応援基金の支援による活動紹介>

- 全国の合宿形式の教習所に協力を依頼し、東京、大阪、埼玉、福岡の児童養護施設やファミリーホームの入所者約100名から応募を受け付け、審査の上、支援。
- 教習所に必要費用を支払い、子供たちには無償で教習枠を提供。



5. 児童またはその保護者の就労の支援

NPO法人パノラマ [神奈川県]

企業と学校とNPOが連携して、高校生の就職を支援

貧困世帯の高校生は、「進路が決まりにくい」、その後も「早期に離職しやすい」傾向があります。在学中に社会との接点をつくり、面接への不安も解消して就職活動に積極的に取り組むことができるよう、「有給職業体験バイターン」という事業を行っています。この事業では、企業と学校、NPOが連携して、3日間の職場体験からアルバイト、アルバイトから就職へと導く就労支援を行い、貧困の連鎖を断ち切ることを目指しています。



<子供の未来応援基金の支援による活動紹介>

- 企業との連携：地元中小企業20～30社に説明、協力企業を専門員が開拓。WEBに紹介記事を掲載する費用を寄付とし、事業の継続性を確保。
- 学校との連携：候補の生徒から家庭の状況などを聞き取り、対象者を決定。
- 企業と生徒のマッチング：職場体験（無給）の3日間で採用の可否を判断。雇用契約を結んだら最低賃金を保証したアルバイトに移行。適性が 高ければ、卒業後、就職へとつなぐ。

6. 里親または特別養子縁組の斡旋を実施・支援

大阪里親連合会岸和田支部(どんぐり会) [大阪府]

里親を増やし、すべての子供たちに家庭を

「僕が小学生のときに両親が離婚して施設へ。高校入学のときに里親さんと出会い、今は大学の受験勉強中です。将来は児童相談所のケースワーカーになって、僕のように困っている子供たちを助けたいです」（男子高校生の話）。

里親登録に至る人を増やすことで、すべての子供たちに家庭で暮らす機会をつくりたいと考えています。啓発活動を各地で行い、新規登録を年間15組ずつ増やすことが目標です（岸和田子ども家庭センター管内の里親登録数は35組）。



<子供の未来応援基金の支援による活動紹介>

- 里親シンポジウムを和泉市、岸和田市で計2回開催。
- イベント出展、里親月間PRを図書館で5日間計2回開催。マラソン大会でPR。
- 子育て応援イベントとして、商業施設で子供向けの参加型イベントを計2回開催。相談コーナーも設置。
- 映画上映&里親相談会を計3回開催。

7. その他の支援

全国フードバンク推進協議会 [山梨県]

食品ロスをなくし、貧困の連鎖の解消も目指して

今日食べるものにも困っている子供たちがいる一方で、安全に食べられる食品が、年間621万トンも廃棄されている日本。私たちは、企業や家庭から食品を募り、貧困世帯の子供たちに届けるフードバンク活動を全国に広げ、持続的に発展できる土壌をつくっています。「安心して生活できるようになりました」「人の優しさ、あたたかさを実感しました」など、返信ハガキの文面から、家計の負担軽減だけでなく、精神的な支えや子供たちの楽しみになっていることがうかがえます。

<子供の未来応援基金の支援による活動紹介>

- 全国フードドライブキャンペーン：給食のない冬休みに全国で実施。
- 食品企業とのマッチング：食品の寄贈を依頼し、全国のフードバンクに郵送。
- 全国のフードバンク団体を対象に、組織基盤強化のための研修会を計6回開催。
スカイプ・直接訪問によるノウハウ支援を各団体月1回、延べ48回実施。
- シンポジウム：子供の貧困問題の周知啓発のため、東京で開催。

